

# 教育長会見

2023年8月2日

# 中学校給食の全員喫食

---

- ランチボックスで提供
- 民間調理施設から配送
- 利用率 約52%



- 給食費の半額助成（2020年度～）

1食 340円 ⇒ 170円

- 食材価格高騰対策（2022年度～）

保護者の追加負担なしで給食の質を維持

- 生徒や保護者のニーズ
  - ・ 温かい給食にしてほしい
  - ・ 量の調節ができるようにしてほしい



「中学校給食の全員喫食制への移行に向けた基本方針」  
(2021年9月) を策定し取り組みを推進

- 主に2つの方式の組み合わせにより提供体制を確保
  - ・ 給食センター方式（新たに2か所整備）
  - ・ 民間調理施設方式
- 親子調理方式を補完的に実施

- いずれの方式も保温食缶を活用し、  
小学校と同様に、温かく量の調節にも  
対応できる給食を提供



保温食缶



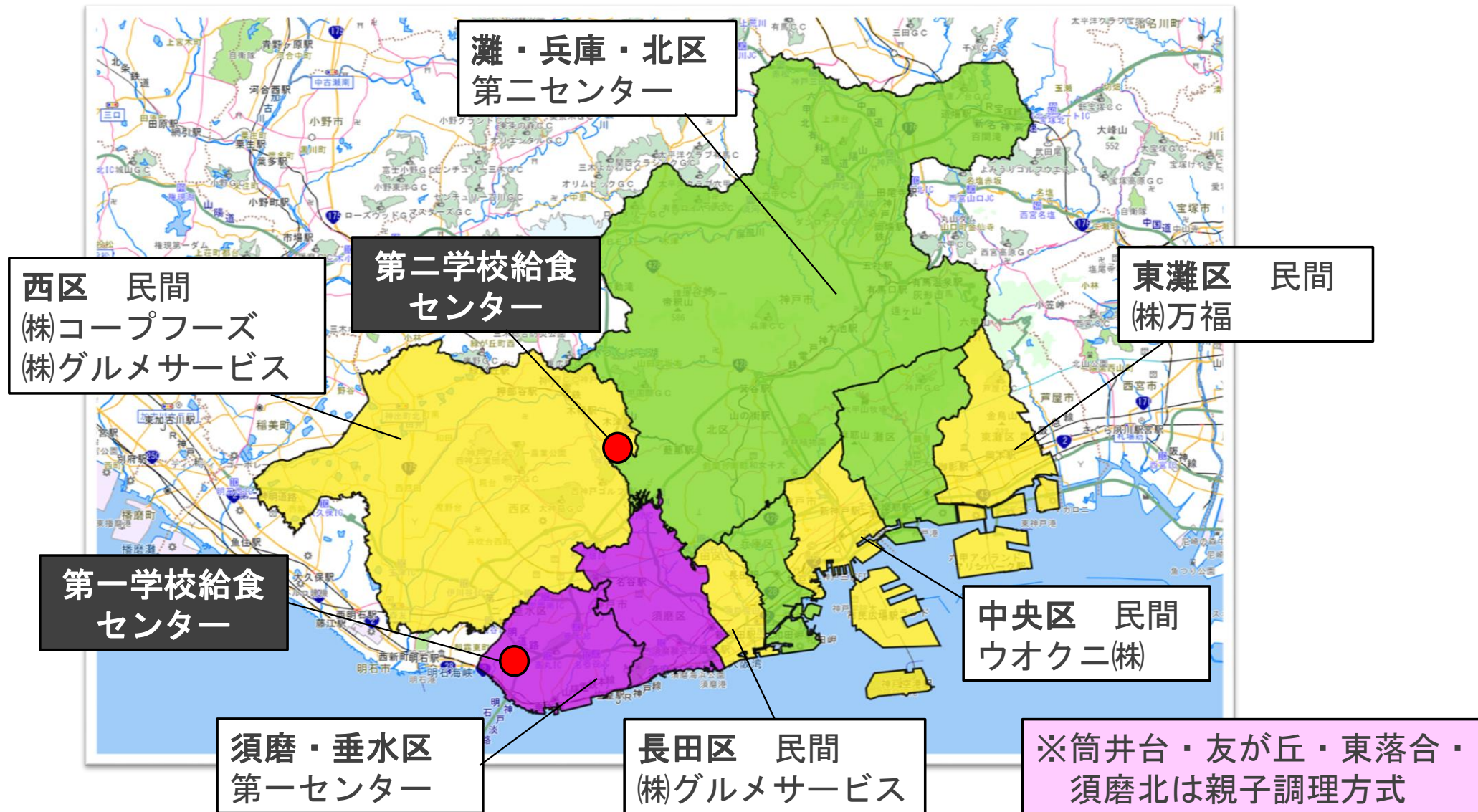
- **安全・安心で栄養バランスがとれた給食**
  - ・ 教育委員会が献立を作成
  - ・ (一財) 学校給食会が一括して食材を調達
  
- **食物アレルギーにも対応**
  - ・ 小学校と同様に「卵除去食」を提供



## ● 義務教育学校八多学園

- ・ 2023年4月の義務教育学校の開校に合わせて、全員喫食の給食を開始
- ・ 前期課程と同様に北共同調理場から配送





- (仮称) 神戸市第一学校給食センター
  - ・ 所在地：垂水区狩口台3丁目1-3
  - ・ 2023年9月中旬 工事着工予定
  - ・ 2025年1月 供用開始予定
  
- (仮称) 神戸市第二学校給食センター
  - ・ 所在地：西区見津が丘7丁目
  - ・ 事業者公募手続き中
  - ・ 2026年1月 供用開始予定



事業者名	対象区（学校数）
① <b>ウオクニ株式会社</b> 本社：神戸市灘区 調理場：神戸市中央区	中央区（6校）
② <b>株式会社万福</b> 本社：大阪市 調理場：神戸市東灘区	東灘区（7校）
③ <b>株式会社コープフーズ</b> 本社：神戸市東灘区 調理場：加古郡稲美町	西区（11校）
④ <b>株式会社グルメサービス</b> 本社・調理場：加古川市	長田区（6校） 西区（2校）

## 第1期〔2024年度2学期〕 10校

### ◆2024年9月

- ・対象：中央区6校（生徒数2,131人）
- ・提供方式：民間調理施設方式

### ◆2024年10月

- ・対象：中央区1校・須磨区3校（生徒数1,140人）
- ・提供方式：親子調理方式

## 第2期〔2024年度3学期〕 19校

### ◆2025年1月

- ・対象：須磨区8校・垂水区11校（生徒数8,371人）
- ・提供方式：給食センター方式（第一学校給食センター）

## 第3期〔2025年度1学期〕 19校

### ◆2025年4月

- ・対象：長田区6校・西区13校（生徒数7,939人）
- ・提供方式：民間調理施設方式

## 第4期〔2025年度3学期〕 33校

### ◆2026年1月

- ・ 対象：東灘区7校・灘区5校・兵庫区5校
  - ・ 北区16校（生徒数 14,263人）
- ・ 提供方式：民間調理施設方式  
給食センター方式（第二学校給食センター）

# 〔参考〕 区ごとの全員喫食の実施時期

区	学校数	2024年			2025年		
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
東灘	7校						●
灘	5校						●
中央	6校	9月~	●				
	1校 (筒井台)	10月~	●				
兵庫	5校						●
北	1校 (八多※1)						
	16校						●
長田	6校				●		
須磨	3校 (※2)	10月~	●				
	8校			●			
垂水	11校			●			
西	13校				●		

※1：八多学園は2024年4月から先行実施

※2：友が丘・東落合・須磨北

▲  
全員喫食へ完全移行  
(2026年1月)



# 英語コミュニケーション能力の育成

---

## ◆2023年度 全国学力・学習状況調査

平均正答率 (中3英語)	2023年度		
	本市	全国	比較
<b>全 体</b>	<b>47</b>	<b>45.6</b>	<b>+1.4</b>
(聞くこと)	60.1	58.4	+1.7
(読むこと)	52.0	51.2	+0.8
(書くこと)	26.1	23.4	+2.7
(話すこと) ※	-	12.4	-

※話すこと調査は全国値のみ公表（自治体ごとの集計なし）

## ◆2023年度 全国学力・学習状況調査

児童・生徒質問紙 (項目抜粋)	「英語の勉強は好きですか」		
	本市	全国	比較
小学校6年生	70.0	69.3	+0.7
中学校3年生	53.9	51.9	+2.0

## ◆2022年度 英語教育実施状況調査

中学生の英語力	CEFR <sup>※</sup> A1レベル(英検3級)の生徒の割合		
	本市	全国	比較
中学校3年生	51.1	49.2	+0.9

※CEFR：セフアール 英語をはじめ外国語の運用能力を同一の基準で測る国際標準

英語教育で求められている4技能

「聞くこと」 「読むこと」 「話すこと」 「書くこと」



グローバル化する社会において、異なる文化や背景を理解し、多様な人々と関係を構築するためには「聞くこと」と「話すこと」が重要



「実践的なコミュニケーション能力の育成」

# コミュニケーション能力育成への視点

## 生きた英語に触れて学ぶ機会の充実

➡ 国際都市神戸の特色を生かした

ALT・地域の外国人材・姉妹都市等との交流

◆ALT…Assistant Language Teacher

◆外国語（主に英語）を母語とし、教員が行う外国語の授業を補助する  
「外国語指導助手」



◆本市ALTは、現在 207名（13か国）を任用・配置

	授業	交流事業
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1,2年生において外国語活動の時間を設定</li> <li>・ 全ての授業でALTとの協同授業</li> <li>・ イングリッシュデイキャンプ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姉妹都市等との教育交流</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャラバンプログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生サマースクール</li> <li>・ イングリッシュフェスティバル</li> <li>・ 姉妹都市等との教育交流</li> </ul>
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャラバンプログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Stanford e-Kobe Program</li> <li>・ 姉妹都市等との教育交流</li> </ul>

# 特色ある取り組み（授業）

## ◆イングリッシュデイキャンプ【小】

## ◆キャラバンプログラム【中・高】

- 多数のALTが学校を訪問
- 学校を外国に見立てた英語の生活の疑似体験や、プレゼンテーション、ゲーム等を通じて交流する体験型プログラム





## 特色ある取り組み（交流事業）

### ◆イングリッシュフェスティバル

大勢のALTに向けて、中学生がチームを組み、工夫を凝らして発表するプレゼンテーション大会



### ◆Stanford e-Kobe Program

高校生がスタンフォード大学講師のライブ授業を受け、その内容についてディスカッションするオンラインプログラム

# 新たな取り組み

## ◆ALTalk【新規】（ALTとTalkする→ALTalk アルトーク）

目的：ALTとの密度の濃い対話・交流を経験することにより  
英語コミュニケーション能力の向上を図る

日時：2023年8月7日(月)・8日(火)

実施校：原田中学校、竜が台中学校、星陵台中学校、  
舞子中学校、平野中学校



内容：生徒とALTが少人数（30名程度）で約2時間の英語コミュニケーション活動を行う

# 新たな取り組み

## ◆ALTalk(新規)

- 特 徴：①ALTが生徒個々のコミュニケーション能力を把握  
②ALTが個々のコミュニケーション能力  
に応じて発話を促し、話すことに自信を持たせる  
③自信を得た生徒たちが自ら英語で話せる場面を設定

3段階で行う  
プログラム

- 活動例：① アイスブレイクタイム (20分)  
② ゲームローテーション (15分×4)  
すごろく、クイズ、伝言ゲーム、英語の歌  
③ みんなで英語で話そう！ (20分)



イメージ

小・中の円滑な接続、言語活動の充実



伝え合う楽しさを実感できる授業の実現

神戸の特色を生かした「英語に触れて学ぶ」機会の拡充



全ての子供たちに交流の機会を提供